

科目責任者 石井 文由 (医療製剤学教室)

■ 教育目的

薬局の社会的役割と責任を理解し地域医療に参画ができ、また、地域医療における問題発見能力を養い解決法を提案できるようになるために、11週間の標準薬局実務実習を基礎として、地域医療に貢献する薬剤師業務のより深い知識、技能、態度を修得する。

■ 学習到達目標

1. 地域社会での患者・顧客の健康管理において、患者・顧客から収集した情報を基に最善のアドバイスをすることができる。
2. 在宅医療、地域医療、地域福祉、災害時医療、地域保健などの場で、薬剤師の職能を地域社会に拡大し地域に貢献することができる。
3. 地域医療機関における医師、およびその他の医療従事者との連携をとることができる。
4. 調剤、服薬指導、患者・顧客接遇、地域医療、セルフメディケーションなどにおける薬局薬剤師の社会的役割と責任を理解することができる。
5. 地域医療における問題点を発見し、その解決法を提案できる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：事前学習を中心に知識・技能の向上をはかっておく。また、11週間の標準実務実習を終えてより深く学びたいコースの自己目標を定めておく。

復習：毎日の実習内容を振り返り、知識と臨床を繋げて修得する。

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	事前学習	オリエンテーション、薬局業務の基礎知識（講義、テスト）、コース実習における研究テーマに向けての文献検索（Pub-Med、医中誌）、統計解析演習、高齢者・在宅介護体験	
2	実習、演習	11週間の標準薬局実務実習を基礎とし各実習施設の特徴に応じて行うアドバンス実習。各自、実習施設において地域医療における問題点をテーマとして研究を行い、研究レポート（論文形式）を作成する。週1日（金曜日）大学においてゼミに参加し、研究ゼミおよび課題ゼミにてSGDを行う。	C18 (3) -1~4
3	事後学習	実習報告会	

■ 授業分担者

石井 文由（責任者）、石橋 芳雄（副責任者）、山崎 紀子（副責任者）、川北 晃司、北原 嘉泰、服部 豊示、足立 茂、植沢 芳広、江口 直光、下川 健一、菅野 敦之、中館 和彦、山田 俊二、飯田 克巳、宮沢 伸介、小関 珠美、斎坂ゆかり、鈴木 正、山田 聖子

■ 成績評価方法

地域医療コース認定指導薬剤師の評価、学内オリエンテーションおよび事前事後面談、学内ゼミ、研究レポートおよび報告会などすべてを考慮した総合評価で行う